

【問い合わせ先】奈良県 宇陀土木事務所
電話：0745—83—0431
計画調整課長 谷村（内線40）
復旧復興課長 井上（内線51）
奈良県 土木部河川課
電話：0742—22—1101
主幹 平岡（内線4171）

紀伊半島大水害により被災した室生川において、 「オオサンショウウオの生息環境保全に配慮した 災害復旧工事」が完成しました！

平成23年の紀伊半島大水害による宇陀土木管内の河川災害復旧工事において、オオサンショウウオの生息が確認された箇所について、生息環境保全に配慮した災害復旧工事を進めてきました。

工事実施に先立ち、三重県教育委員会・奈良県教育委員会が策定した「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針（平成24年3月）」に基づき、宇陀土木事務所、奈良県文化財保存課、宇陀市・御杖村教育委員会、オオサンショウウオの専門家が連携して、保護調査を実施しました。

保護調査によりオオサンショウウオの生息を確認した室生川においては、専門家の意見を参考に、オオサンショウウオが生息できる巣穴の設置や登りやすいスロープ状の寄せ石の設置などを行いました。

1. 保護調査の流れ

- ①宇陀土木事務所と奈良県文化財保存課、宇陀市・御杖村教育委員会との事前協議
- ②専門家による現地立会確認
- ③専門家による保護調査
- ↓
- ④19匹のオオサンショウウオの生息確認
- ⑤調査によって見つかった19匹のオオサンショウウオは、4匹の幼体を除きマイクロチップを付け、計測後上流の工事の影響のない生息適地に放流。

2. オオサンショウウオの生息環境保全に配慮した対策工

- ①落差工にはオオサンショウウオが自由に上り下りできるスロープを設置する。大石を多くランダムに配置し、オオサンショウウオが自然に上り下りできる構造とする。
- ②オオサンショウウオが身を隠したり、繁殖することのできる人工巣穴を水際の護岸施設内部に設置する。（直径20cm、長さ2m程度）

3. 今後の取り組み

- ・来年度以降も、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針」に基づき、工事に先立ち保護調査を実施。また、保護対策が必要な箇所については、専門家とも相談しながら保護対策工事の積極的な実施に努めてまいります。

4. 専門家による保護調査の状況と見つかったオオサンショウウオ



平成 24 年 10 月 17 日撮影



平成 24 年 10 月 17 日撮影

5. 落差工部のスロープ



6. 人工巢穴

